

1. 地域未来交付金(地域未来推進型)の活用
＜交付金の趣旨＞

地方の大きな伸び代と地域特性を最大限に活かし、地場産業の付加価値向上等を通じて、地方の暮らしの安定を実現し、「強い経済」の構築を後押しする。

- ＜対象事業＞
- ①ソフト事業:観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する取組などを支援(移住・起業・就業型及びプロフェッショナル人材型の対象事業を除く)。
 - ②拠点整備事業:観光や農林水産業の振興等の地方創生に資する拠点施設の整備などを支援。
 - ③インフラ整備事業:ソフト事業又は拠点整備事業と組み合わせて実施されるインフラの整備を支援。

2. 草津市における「地域未来交付金(地域未来推進型)」対象事業

No.	事業名 担当課 計画期間	予算額(千円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容 (※事業内容は令和8年度の内容)	総合戦略における事業 の位置付け	重要業績評価指標 (KPI)	
						指標	目標値
1	(1)事業名 「笑顔のまち、住みよいまち やまだ」の地方創生拠点整備事業 (2)担当課 まちづくり協働課 (3)計画期間 令和7年度～令和8年度	令和8年度 274,753千円	令和8年度 137,376千円 【補助率】 1/2	【事業概要】 山田まちづくりセンターを新築し、地域の人口を維持するとともに、コミュニティビジネスによる収入やまちづくりセンター利用者数を増加し、まちづくり協議会の自立性を促すもの。 【事業内容】 ・山田まちづくりセンターの整備を行う。(大会議室、多目的室、調理室①、調理室②(食品営業許可付き調理室)、交流サロン、チャイルドコーナー、スタディコーナー、事務室 他) ・従来の山田まちづくりセンターは477㎡、新たに建築する山田まちづくりセンターは629㎡と従来の1.3倍の大きさであり、地域コミュニティの希薄化を解消するための工夫として、交流サロン面積を約7倍(約20㎡から約139㎡)に広げ、また、子育て支援環境の充実の観点から、新たにチャイルドコーナーやスタディコーナーを設ける。 ・学区の特色である農産物の加工場所として、一般的な調理室の他、食品営業許可付き調理室を設けることでコミュニティビジネスの機会を創出する。	【戦略目標】 地域の支え合い推進プロジェクト	①山田学区の人口 <u>現状値R6：7,772人</u>	R7 -5人 (7,767人) R8 -29人 (7,738人) R9 +63人 (7,801人) R10 +7人 (7,808人) R11 -14人 (7,794人) R12 -33人 (7,761人)
						②コミュニティビジネスによる収入増 <u>現状値R6：0円</u>	R7 0円 R8 0円 R9 +200千円 (200千円) R10 +30千円 (230千円) R11 +30千円 (260千円) R12 +30千円 (290千円)
						③山田まちづくりセンターの利用者数 <u>現状値R6：11,678人</u>	R7 +2人 (11,680人) R8 +10人 (11,690人) R9 +310人 (12,000人) R10 +300人 (12,300人) R11 +400人 (12,700人) R12 +400人 (13,100人)
2	(1)事業名 「美しい心と活気のあるまち・矢倉」の地方創生拠点整備事業 (2)担当課 まちづくり協働課 (3)計画期間 令和7年度～令和8年度	令和8年度 306,332千円	令和8年度 153,166千円 【補助率】 1/2	【事業概要】 矢倉まちづくりセンターを新築し、矢倉学区を代表する地域資源の活用や立命館大学などとの協働を通じて、センターの利用者やセンターにおけるイベント参加者の増加を図ることで、地域コミュニティの活性化ひいては矢倉学区の人口の増加を図る。 【事業内容】 ・矢倉まちづくりセンターの整備を行う。(大会議室、和室、調理室、キッズルーム兼食堂、工作・陶芸室、オープンスペース、事務室 他) ・従来の矢倉まちづくりセンターは471㎡、新たに建築する矢倉まちづくりセンターは630㎡と従来の1.3倍の大きさであり、地域コミュニティの希薄化を解消するための工夫として、オープンスペースを4.5倍(22㎡から約101㎡)に広げ、また、子育て支援環境の充実の観点から、新たにキッズルーム等を設ける。	【戦略目標】 地域の支え合い推進プロジェクト	①矢倉学区の人口 (年間約70人ずつ人口が減少すると想定し、年間の減少数が毎年10人ずつ良化に転じる) <u>現状値R6：-2人【-72人】</u> (9,538人) 【参考】R5実績 9,610人	R7 0人【-70人】 (9,468人) R8 0人【-70人】 (9,398人) R9 +10人【-60人】 (9,338人) R10 +10人【-50人】 (9,288人) R11 +10人【-40人】 (9,248人) R12 +10人【-30人】 (9,218人)
						②矢倉まちづくりセンターの利用者数 <u>現状値R6：14,568人</u>	R7 0人 (14,568人) R8 +300人 (14,868人) R9 +500人 (15,368人) R10 +300人 (15,668人) R11 +300人 (15,968人) R12 +300人 (16,268人)
						③矢倉まちづくりセンターにおけるイベント参加者数 <u>現状値R6：1,460人</u>	R7 0人 (1,460人) R8 +50人 (1,510人) R9 +80人 (1,590人) R10 +50人 (1,640人) R11 +50人 (1,690人) R12 +50人 (1,740人)

No.	事業名 担当課 計画期間	予算額(千円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容 (※事業内容は令和８年度の内容)	総合戦略における事業 の位置付け	重要業績評価指標（KPI）	
						指標	目標値
3	(1)事業名 「道の駅」活用・リニューアル&防災拠点化プロジェクト (2)担当課 農林水産課 （滋賀県、草津市の広域連携事業） (3)計画期間 令和7年度～令和11年度	令和8年度 【全体分】 438,857千円 【草津市分】 23,857千円	令和8年度 【全体分】 240,028千円 【草津市分】 11,928千円 【補助率】 1/2	【全体事業概要】 施設や駐車場、アクセス道路などを整備することに加え、イベントなどを実施することで、道の駅を単なる「休憩場所」から地域活性化や観光促進への拠点とする。また、地域の防災拠点として防災機能の強化を行う。 【草津市事業概要】 道の駅草津は、都市と農村との地域間交流や道路利用者の休憩機能などを併せ持った施設として、平成１５年度に供用を開始した。供用開始から２０年以上が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、令和４年２月に策定した「道の駅草津リノベーション構想」に基づき、道の駅草津の機能や魅力の向上等を通して、本市の農業振興を図るとともに、地方創生の拠点形成を目指すもの。 【草津市事業内容】 ・農産物直売所・レストラン等において、車いすが通れるなど、余裕を持った通路幅を確保する。 ・ロックベイガーデンとの機能のすみ分け、直売スペースの拡大、動線の考慮や地場産物の加工品の販売等を視野に入れた大幅な配置替えを行う。 ・屋外空間を活用し、子ども連れの方などの休憩スペースやイベント広場を確保する。 ・便器の洋式化や子ども連れの方が使いやすい仕様等、機能充実を目的としたトイレ全体の改修を行う。	【戦略目標】 にぎわい・再生プロジェクト	①地域における観光消費額 <u>現状値R5：1,717億円</u>	R7 +280億円（1,997億円） R8 +115億円（2,112億円） R9 +115億円（2,227億円） R10 +59億円（2,286億円） R11 +89億円（2,375億円） R12 +96億円（2,471億円） R13 0億円（2,471億円） R14 0億円（2,471億円） R15 0億円（2,471億円）
						②道の駅「草津」における入 込客数 <u>現状値R2：175,478人</u>	R7 0人（0人） R8 0人（0人） R9 0人（0人） R10 0人（0人） R11 +124,522人（300,000人） R12 +30,000人（330,000人） R13 +30,000人（360,000人） R14 +30,000人（390,000人） R15 +30,000人（420,000人）
						③道の駅「草津」における売 上高 <u>現状値R5：227百万円</u>	R7 0人（0人） R8 0人（0人） R9 0人（0人） R10 0人（0人） R11 +160百万円（387百万円） R12 +38百万円（425百万円） R13 +38百万円（463百万円） R14 +38百万円（501百万円） R15 +38百万円（539百万円）
4	(1)事業名 鉄道を起点としたツーリズム促進プロジェクト (2)担当課 商工観光労政課 こども若者政策課 （滋賀県、大津市、長浜市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、東近江市、米原市、日野町の広域連携事業） (3)計画期間 令和8年度～令和10年度	令和8年度 【全体分】 199,562千円 【草津市分】 17,520千円	令和8年度 【全体分】 99,780千円 【草津市分】 8,760千円 【補助率】 1/2	【全体事業概要】 滋賀デスティネーションキャンペーンの機会を活かし、鉄道利用を起点とした県内周遊・滞在型観光を推進する。観光資源を活かした特別な観光コンテンツの造成、鉄道等を利用した周遊企画、人流データに基づく効果検証、全国イベントでの情報発信、二次アクセス改善等を実施する。これより、県内での滞在時間と宿泊を増やし、観光消費額の拡大につなげる。 【草津市事業概要】 令和９年秋に開催される滋賀デスティネーションキャンペーンを契機とし、幅広い世代やインバウンドを含めた多様な層の観光客に対して鉄道を起点とした宿泊・滞在型観光をPRし、広く本市の認知度向上と宿泊・滞在型観光を楽しめるよう「おもてなし」を強化し、受入体制を整備する。 【草津市事業内容】 (商工観光労政課) ・鉄道を活用した全国各地からの誘客促進のため、草津市の観光資源の発掘・磨き上げ、新たなコンテンツ創出や市内周遊の促進、関連事業者の支援を行う。 ・鉄道を起点としたサイクリングやハイキングなどの体験型観光の推進、地域特産品の紹介・創出、さらにイベント来場者向けの消費喚起策実施する。 ・旅行会社やインバウンド向けの情報発信・プロモーションツール整備等によるプロモーション強化に加え、大規模イベントの開催促進を通じて認知度向上に取り組む。 (子ども若者政策課) ・若者自らがまちの観光資源を発見し、魅力をプロモーションする動画やWEBサイトの企画・制作等を行うことで、若者のエンパワーメントや社会参画を進める「若者活躍×観光振興」に取り組む。	【戦略目標】 にぎわい・再生プロジェクト	①観光消費額 <u>現状値R7：2,265億円</u>	R8 +68億円（2,333億円） R9 +34億円（2,367億円） R10 +34億円（2,401億円）
						②延べ宿泊者数 <u>現状値R7：384万人</u>	R8 +33万人（417万人） R9 +17万人（434万人） R10 +17万人（451万人）
						③JR在来線の利用者数 （１日の乗車人数） <u>現状値R7：285,965人</u>	R8 +2,846人（288,811人） R9 +2,846人（291,657人） R10 +2,846人（294,503人）

No.	事業名 担当課 計画期間	予算額(千円)	交付金 補助率	事業概要および事業内容 (※事業内容は令和8年度の内容)	総合戦略における事業 の位置付け	重要業績評価指標 (KPI)	
						指標	目標値
5	(1) 事業名 人と企業が交わる、魅力と活力のあふれるまち 推進プロジェクト ～スタートアップを核とし た地域版イノベーション・エコシステムの構築～ (2) 担当課 商工観光労政課 企業立地推進室 (3) 計画期間 令和8年度～令和10年度	令和8年度 17,312千円	令和8年度 8,656千円 【補助率】 1/2	【事業概要】 本市の産業振興に資するため、地域に根差したスタートアップの創 出・成長・集積を推進するとともに、地域内外の多様な主体との連携に よる新しい技術やサービスの実証実験等を通じたイノベーション創出に よって社会課題の解決や市民生活の質の向上を図る。また、人材不足に 悩む企業の高度人材確保や業務のDX化を支援することで新たなビジネス モデルの創出を促し、地域経済および産業のさらなる拡大を目指すも の。 【事業内容】 (企業立地推進室) ・新規事業化において課題となる事業性検証の機会の創出および 地域の社会課題の解決や市民生活の質向上を図るため、スター トアップ等が実施する社会課題の解決等を目的とした実証実験 を支援する。 ・新たなスタートアップ等の創出・集積に向けた経営（起業）人 材を育成・発掘と起業意欲の向上（機運醸成）を促進するた め、立命館大学が実施する「Community Campus」（運営：一般 社団法人ベンチャーカフェ東京）およびスタートアップと地域 企業のマッチング機会を創出する。 (商工観光労政課) ・即戦力となる人材確保を図るため、スタートアップ、中小企業 等が実施する採用活動（転職サイトへの掲載、人材紹介会社の 活用、転職フェア等への出展等）を支援する。 ・人材が不足するスタートアップ・中小企業を対象に、人材確保 や事業環境の改善（DX化）を支援し、新規事業に挑戦する環 境整備を後押しする。	【戦略目標】 にぎわい・再生 プロジェクト	①法人市民税納税義務者数 <u>現状値R7：4,167法人</u>	R8 +100法人（4,267法人） R9 +110法人（4,377法人） R10 +120法人（4,497法人）
						②市内（GIC・BKCインキュ ベータ）に活動拠点を置くス タートアップ等（起業予定を 含む）の者数 <u>現状値R7：17者</u>	R8 +20者（37者） R9 +25者（62者） R10 +30者（92者）
						③市が関与して実施した実証 実験等の件数 <u>現状値R7：0件</u>	R8 +5件（5件） R9 +5件（10件） R10 +5件（15件）
						④マッチングイベントの参加 者数 <u>現状値R7：0者</u>	R8 +50者（50者） R9 +60者（110者） R10 +70者（180者）



※令和9年度に草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会を開催し、令和8年度事業終了後の重要業績評価(KPI)の実績値等を報告するとともに、外部の視点による客観的な評価をいただきます。